2010年度高知大学総合教育センター修学・留学生支援部門講演会

参加無料

新 常用漢字表はどうなるか

日時
2010年
6月12日(土)
13:00～15:20

場所
高知大学朝倉キャンパス
メディアの森6階メディアホール

講師
K A I Mutsuro
甲斐 睦朗 氏
(京都橘大学文学部教授・元国立国語研究所長)

講演内容
戦争直後の1946(昭和21)年に「当用漢字表」が作成されました。社会の変化に伴って、漢字事情が動いたということで、1981(昭和56)年にそれまでの当用漢字表に改訂をくわえた「常用漢字表」が公布されました。字数は1850字から1945字に増やされました。また、四半世紀が経過したところで、新常用漢字表の改訂作業が始まり、4年間審議してやっと漢字表が公布されることになりました。1945＋196－5＝2136字で、今回は2000字を超えることになります。今回の審議では教育界からの要請がほとんど組み入れられていません。また、新聞社などからの要望も採用されていません。このような新常用漢字表における問題点についていくつかの具体例を挙げ、紹介していきたいと思います。

Profile
愛知教育大学、国立国語研究所日本語教育センター長・所長を歴任した後、1999年4月より現職。日本の国語学・国語教育界の指導者として、現在も様々な教育現場における研究やプロジェクトに携わっている。委員としては、国語審議会委員、文化審議会国語部会委員、中央教育審議会教育課程部会国語専門部会委員、NHK放送技術センター理事などを務めている。

Program

13:00	受付開始
13:30	開　会
13:45~15:05	講　演
15:05~15:15	質疑応答
15:20	閉　会

申込方法 ①氏名、②住所・所属・職名、③連絡先を明記の上、FAXまたはメールにて下記お問い合わせ先までお申し込みください。

申込締切日 **2010年6月7日(月)**
当日参加も可能ですので、お誘い合わせの上ご参加ください。

お問い合わせ先 高知大学学務部学生支援課留学室　高知市曙町2-5-1
Tel:088-844-8635　Fax:088-844-8718　E-mail:gs05@kochi-u.ac.jp